

平成 28 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	06	01	104660	地域スポーツ推進事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-4	スポーツの振興			
	施策	1	生涯スポーツの推進			
目的	地域スポーツ（生涯スポーツ）の推進を図る。					
対象	スポーツ指導員、スポーツ推進委員、生涯スポーツ推進員、参加を希望する市民等					
意図						
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
①スポーツ指導員の配置（スポーツ振興課） ②スポーツ推進委員の配置（市内39名） ③地域スポーツ普及員の配置（市内343名：各行政区選出） ④早起きマラソンの開催 ⑤スポーツ教室、イベント等の開催 ⑥ニュースポーツ等の普及、ニュースポーツ交流大会の開催						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定		
		後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	早起きマラソン延べ参加者数	人	計画	186,700	186,700	186,700
			実績	173,654	158,314	
②	市スポーツ推進委員等が指導するスポーツ教室等の参加者数。	人	計画	5,500	5,500	5,500
			実績	5,871	3,876	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
①	地域で行うスポーツ教室や早起きマラソン等の延べ参加者数	人	目標	225,000	230,000	230,000
			実績	190,981	174,404	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり	○ 目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
スポーツ教室や早起きマラソン等の延べ参加者数は、市の人口が減少傾向にあり絶対数が減少していることなどにより減少傾向にある。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括	
スポーツ基本法が制定（平成23年8月23日施行）されたことに伴い、平成24年3月30日付けで、スポーツ基本計画が策定された。 地域スポーツの推進のために、早起きマラソンをはじめとする各種事業を行い、一定の成果があった。 早起きマラソンについては、さらに会場を増やしていき、参加者の増加を見込んでいきたい。 スポーツ教室等は、市体育協会との事業のすり合わせを行い連携を深めているため、魅力ある教室や講習会等の回数を増やしていつている最中で、さらなる推進が見込まれる。 国がスポーツ基本計画を策定し、①子どものスポーツの機会の充実、②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進、③住民が主体的に参画する地域のスポーツ環境の整備等が政策目標として掲げた。これを受け、平成29年度中に策定する花巻市スポーツ推進計画により、より一層、スポーツ環境の整備を図り、市民の多様化するニーズに対応したスポーツ教室等の開催につとめながら、スポーツの機会の充実とスポーツ活動の推進を図っていかねばならない。	

平成 28 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業J-ト	事業名
一般	10	06	01	104660	地域スポーツ推進事業

単位：千円

		27年度 決算額(A)	28年度 決算額(B)	29年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		16,609	17,669		1,060
財源内訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	16,609	17,669		1,060

事業期間	単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-------	------	-----------------

部重点施策における目標

スポーツの推進に努めます

事業開始の背景・経緯

旧法：スポーツ振興法の規定に基づき、平成12年9月に文部大臣告示としてスポーツ振興計画を策定。その中で、生涯スポーツ（現、地域スポーツ）社会の実現のため、子どもの体力の向上方策や総合型地域スポーツクラブ設立の全国展開を行ってきた。その後、平成23年8月、スポーツ基本法を制定し、平成24年3月に、スポーツ基本計画を新たに策定。

事業概要

- ①スポーツ指導員の配置（スポーツ振興課）
- ②スポーツ推進委員の配置（市内39名）
- ③地域スポーツ普及員の配置（市内343名：各行政区選出）
- ④早起きマラソンの開催
- ⑤スポーツ教室、イベント等の開催
- ⑥ニュースポーツ等の普及、ニュースポーツ交流大会の開催

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

新たな課題として、子供の体力が昭和60年頃の水準を上回ることができるような取り組みと、2極化傾向に対応したスポーツの機会の提供等の取り組みが必要である。（注：2極化とは、スポーツをすることしない子の差が激しくなっていることを指す。）
早起きマラソンは、子供の体力向上はもちろん、「早寝、早起き、朝ごはん」という規則正しい生活の習慣づけに非常に良い事業である。しかし、ほとんどの会場が旧花巻地域であり他地区への普及が課題である。

担当部署 部名 生涯学習部 課名 スポーツ振興課 担当係長 振興係長 菅 内線 293

(単位：千円)

【事業手法の詳細】…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

- ①スポーツ指導員の配置 2,280千円
報酬1,982（1名）、共済費298
・生涯スポーツの指導実践・市民スポーツ教室の企画、運営
- ②スポーツ推進委員の配置 2,935千円
報酬1,755（45×39名）、旅費670、需用費510
・ニュースポーツ、生涯スポーツの普及、指導・各種スポーツ教室の企画、運営
・岩手県、東北、全国の研修会への参加
・各地区（振興センター単位）へのニュースポーツの普及
- ③地域スポーツ普及員の配置 1,309千円
謝礼1,309（各地区協議会へ20+会員数割（1名分3千円））
・地域（生涯）スポーツの普及、指導・実践・各地域スポーツ教室の企画、運営
- ④早起きマラソン 1,784千円
謝礼1,440、需用費344
・5月第1週から10月体育の日まで（156日間）、市内67会場にて開催
・延べ総参加者約158,314人
・普及月間（5月～6月）、強調月間（7月～8月）
・年間三賞（皆勤、精勤、努力賞）の表彰
- ⑤スポーツ教室、イベント等の開催 329千円
鉛温泉スキー場イベント179（スキー場開き、スキー場まつりの開催）
子どもチャレンジランキング大会150
- ⑥ニュースポーツ等の普及、ニュースポーツ交流大会の開催 336千円
備品136、委託料200
・ニュースポーツ交流大会2月19日に総合体育館で開催、6種目 参加者約200人
- ⑦その他経費 8,696千円
時間外4,176、手当259、賃金1,530（補助員1名、大会作業員、看護師等）報償費12、
旅費458、需用費1,930 役務費134（自動車保険料等）、富士大開放委託38、その他委託料150、
その他重量税9